

## 2017年度 第3回理事会 議事録

日 時：2018年2月14日（水）10:30～17:00  
場 所：東京都千代田区内神田3-24-5  
エッサム神田2号館401

I. 開会 司会進行：大代専務

II. 会長挨拶：日本海側のみなさま雪は大丈夫でしょうか。

「校閲記者の目」を読みました。校閲者の仕事は、間違いを但し、重箱の隅をつつくのではなく、より良い新聞にしていくものだそうです。この理事会もみなさまの目で校閲し、議案がより良いものになるようよろしくお願いいたします。

III. 議事

1. 議長選出：友常副会長 議事録作成人：事務局 星野みゆき

2. 定足数の確認：理事出席 65名（79名中）委任状70名 監事出席2名（3名中）顧問1名 オブザーバー2名  
事務局3名 合計：65名

3. 議事録署名人の指名：正副会長より白木氏及び監事より望月氏を指名

4. 資料及び議題の確認・新議題の採択 なし。

前回議事録の確認（メール配信済み）2017年度第2回理事会・第2回常任理事会・第5回正副会長会議

5. <会議の進め方：竹ノ内関連部会長より>

### 【審議事項】

(1) 入退会について 入会6社 退会4社

大代 資料P1+追加P1

大代：説明。

新田：丸菱産業(株)はどのような会社ですか。→榎本（東京支部）：健康器具を取り扱う会社ですがご本人からの連絡で丁寧な説明を受け、入会に相応しいと判断し推薦します。入会後は同じ支部会員となるので指導していきたい。

**入会：白票5、賛成多数により承認**

**退会：自動承認**

### 【協議事項】※意見抜粋・全文（原文）は別紙

(1) 2018年度事業計画及び予算について（テーブルディスカッション）

大代 資料P3 別添①②

大代：2018年度収支予算案説明。実質△250万円の赤字決算見込み。お墓ディレクターの収入減が大きな要因と思う。

×印の部分は実施されなかった（予算を使わなかった）事業。未実施の理由は総会資料にて説明必須。地区事業に関しては、特段意見が出なかったため提出資料をそのまま次回理事会審議事項に上程します。

望月：1/16 予算編成委員会開催。各地区・部会・委員会より提出された事業報告、計画予算を精査しました。委員会所見は協議の参考にしてください。

Q テーブル9：会費収入で運営していくことが基本ではないのか。1,600万円の赤字予算の説明が欲しい。

A 望月：会費収入だけではなく、主として入会金とお墓ディレクターの収入で運営している。積立金を見越し500～1,000万円の赤字を想定して予算組みをしている。結果、赤字にならないことは大事。

### 【委員会】

▼ジャパンスターショー（上野）：積極的な会員の参加、冊子作成をメインとし、新入会員増強にも力を入れる。

Q①テーブル8：ツアーを充実させる、ディズニーランドなど目玉を取り入れたら。

Q②テーブル4：「特別協賛」という呼称は適切か？

Q③テーブル3：出来るだけ中国企業の排除、TSOへの対応が重要。

⇒主催からは外れた。全優石・石製品と3団体で共にサポートしていく。名称はまだ仮称。ツアー会社と内容を詰め

ていく予定。

▼会員拡大委員会（井口）：会員推薦カードの作成。地区大会等々で配布。

Q①テーブル6：本部だけでなく支部に協力要請して拡大した方が良い。

Q②テーブル12：入会審査を厳しくした方が良い。賛助会員の検討も。

Q③テーブル7：地区大会の配布だけではむずかしい。各支部に依頼し効率よく配布を。

Q④テーブル10：予算額が一桁違うのではないか。石産協通信を非会員へ送っても良いのでは。

⇒現在ひとりで委員会を担っている。46都道府県の支部長さんには積極的に協力いただきたい。その際に入会推進委員会を立ち上げられればと思う。

▼公正競争規約推進委員会（白木）：設立準備会、設立までの諸費用を協賛金として拠出。

Q①（テーブル1）：大変なことをがんばってくれている。

Q②（テーブル3）：方向性が見えにくく分かりにくいので、参考事例情報などが欲しい。

⇒参考事例情報は必要と思う、今後検討していきたい。

▼広報委員会（上野）：「石工男子」SNSなど利用し低予算で進めているが苦労している。「HP第5フェーズ」お墓の窓口への質問への対応、SEO対策との同時進行。「プレスリリース」FAX→Twitterへの転換により予算軽減。顧客満足推進委員会との連携も検討中。

Q①テーブル9：石工よりも石を取り上げては。Wikipediaへの書き込みなど予算をかけないHPづくりも検討してみてもは。

Q①テーブル5：メンバーを増やした方が良い。ポスターなど他団体と共同作成をしたらどうか。HPは会員拡大につながる、がんばって欲しい。

⇒Wikipediaは良案。現HP「はかまどトピックス」へは自由に書き込み出来るので利用して欲しい（SEO対策）。全国各地から委員会メンバーを募りたい（交通費負担も検討）。

▼お墓ディレクター委員会（湯浅）：受検者数が減っている。増加を目的のメインに考えた予算立て。

Q①テーブル1：お墓ディレクター3級もしくは一般向けの試験を実施して業界外へアピールする。

Q②テーブル4：単なる交通費支出は疑問。更新を3年にして収益を増やす。取得者のメリットを明確に。

⇒年12回の委員会以外の出向が多いのでメンバー交通費負担を減らしたい。事実、関連業者の受検が増えているので更にアプローチしていきたい。

▼顧客満足推進委員会（能島）：収益を目的とした事業を検討していく。予算を使わず受益者負担としている

Q①テーブル6：お客さまが喜ぶものを作成いただき、ありがとうございます。

Q②テーブル5：いしずえのサンプル誌を配布して欲しい。

⇒いしずえは石産協通信に同封済み、全会員にもメール配信済み。見ていただく機会はつくっている。

### 【部会】

▼採石原石部会／加工部会（三野／大川）：第10回加工講習会は関西で中級コース、関東で初級コースを計画。継続していく必要がある事業。

Q①テーブル2：石のモニュメント、石の建築物の点検など石屋の新しい仕事を検討いただきたい

Q②テーブル8：各産地を巡り継続していくのか。不参加者のためのDVDなど販売は検討されるのか。加工代金は中国と逆転しているのか？

Q③テーブル4：ナンバリングされた修了証（吊り下げ式）を用意すると価値が上がる。SNSなどで一般の方へのPRを。石材加工グランプリへステップアップして欲しい

## 2017年度 第3回理事会 議事録

⇒モニュメント修復等は考えつかなかったので検討していきたい。講習会は東西交互の開催を検討している。DVD制作は実現化して収益につなげたい。修了証はIDカードや御朱印帳型も今後検討していきたい。一般墓石の加工賃はほぼ一緒、ぜひ国内加工を。講習会参加者のレベルがそこまで上がっていないがいつかはグランプリ開催出来れば。

▼建築環境部会(友常):ぜひ部会への希望を出して欲しい。東京オリンピックに向けて建築業界が動く、ゼネコン対応。

Q①テーブル12:取り付け講習会を開催して欲しい。

⇒取り付け講習会は前向きに検討したい。

▼墓石部会(佐野):情報共有の場を目的の中心に開催。墓石部会員と認識いただくために開催しているので参加費徴収はしていない。

Q①テーブル3:次年度はどこで開催を検討されているのか。参加出来ない希望者へ資料・冊子を配布して欲しい。

Q②テーブル12:墓じまいネットワークから改葬に名称変更は良い。部会部員の周知が必要。消費者向け事業のモデルケースを主導で開催して欲しい。

⇒地方開催は検討中。部会開催情報は石産協通信へ同封、メール配信にて周知している。事前アンケート・次第・議事録は今後、会員ページで閲覧できるようにしていく。地区支部のネットワークを利用していきたい。

▼輸入卸商部会(望月):主に通関データを共有、情報交換を中心に日中交流会を継続開催。

Q①テーブル10:まだまだ中国に頼っている現状なので仕方がない。中国に利用されている感がある、懇親会だけで良いのでは。ストーンショーは本部予算でない方が良い。

Q②テーブル7:まだ中国との付き合いは切れぬ、交流を持った方が良い。

⇒「日中協議会」の際に必ず品質基準・価格設定・値上げが議題に上がった。協会では決定出来ない事項により「日中交流会」へと移行になった経緯がある。

▼関連部会(竹ノ内):ストーンアシストは継続事業、毎回盛況。業界に関わる実態調査(詳細内容は今後検討)。

Q①テーブル10:情報交換の意味で大変良い。

Q②テーブル7:出展者の利益効果はどうか。前向きに開催が成功するように。

⇒出展料を低コストに抑えている。出展者、セミナー共すぐにコマが埋まる人気事業。

▼その他/産地証明書・お墓相談室事業(柴田):今後、産地証明書は採石部会へ引き継がれる。お墓相談室は形式を変えず継続事業となる。

Q①テーブル1:地区支部では周知が難しい、お墓相談室はプレスリリースを利用できないか。

⇒プレスリリース、日本の石のPR含め、広報委員会と連携して行っていきたい。

**【役員】次期役員候補者推薦状況について※周知**

会長 資料P4

射場:追加資料P9、氏名欄頭の“予”は予定者ですが、必要資料が未提出の方です。空欄はお名前報告も資料提出もないところ。至急ご提出願います。

**【組織】2018年度組織図について(テーブルディスカッション)**

会長 資料P7

射場:会長任期は4期8年です。2020年度より新体制となることを見据え、役員組織についてみなさまからアイデア・ご意見をいただきたい。

テーマ《もし、ゼロから組織を作るとしたら》

①テーブル9:地区担当副会長の必要性=地区長が役割を担えば良いのではないか。部会担当副会長の担当役割、

## 2017年度 第3回理事会 議事録

予算配分が精査されていない。

- ②テーブル 12：墓石部会を対内・対外・各地区に分けてはどうか。支部長は理事の立場から外し負担を楽にする、代わりに年2回連絡会議を設ける。
- ③テーブル 10：支部長を理事から外す、外さないの両意見。地区長をなくし担当副会長を増やす⇔副会長は地区・部会・委員会担当の3名が良い
- ④テーブル 1：年3回の理事会は負担ではないが、地方開催の理事会を検討して欲しい。  
⇒次期会長は白紙ですが、40代が協会運営の中枢を担い、それを30代50代が支える。60代以上はそれを見守りつつ必要に応じて指導する、というイメージを個人的に描いています。

テーマ《全国地区支部長連絡会議の必要性》

- ①テーブル 8：必要と思う。年一回でも開催を希望。  
⇒理事会とは違い、お互いの悩み相談の機会になるような、語り合える会に出来たらと思います。

### 【報告・周知・依頼事項】

- (1) **【九州】九州・沖縄地区全体会議決算報告（11/28・29 大分）** 玉田 資料 P9  
玉田：射場会長、竹ノ内部会長に業界の講話、文化財石造物の保存方法などの講演を開催。36名の方に参加いただきました。ありがとうございました。  
堤：ご参加いただきありがとうございました。九州地区からもう少し参加いただきたかった。  
金子：交通のアクシデントはありましたが無事に開催出来ました。
- (2) **【支部助成】北海道支部：幸フクロウ運動** 三上 資料 P11  
三上：この事業も8回目となります。過去の寄贈施設にも訪問してフォローを続けています。子どもたちにはとても喜ばれたことが何よりです。
- (3) **【支部助成】北海道支部：さっぽろ雪まつり「市民雪像」への挑戦** 三上 資料 P14  
三上：北海道支部のキャラクター「ごりんちゃん」ほか3キャラクター雪像を、4人で4日間かけて制作しました。  
(制作風景映像 10分)
- (4) **【加工】第9回石材加工講習会について（9/9 京都）** 大川 資料 P16  
大川：エンディング産業展から間がありませんでしたが、多くの参加をいただきありがとうございました。  
電動工具を使った加工部門は井口石材の社員さん、小叩き部門は愛知県の戸松さんが優勝しました。  
竹ノ内：工場見学もあり興味を持ってもらえ、懇親会ではたくさんの京都府支部会員との交流も出来ました。  
友常：開催地の希望を募ります。次回、岡崎を検討中です。
- (5) **【採石】国産銘石アドバイザー申込み状況** 三野 資料なし  
三野：49名の参加、明後日16日より二日間開催します。天気が心配ですが成功裏に終わらせたい。たくさんのお申込みありがとうございました。
- (6) **【墓石】第3回墓石部会(10/4開催)** 佐野 資料 P19  
佐野：アナログも大事にしながらITを上手く利用することが経営効率化につながることを学びました。  
昨日は第4回部会も開催し、文京区の石仏を巡りました。詳細報告は次回いたします。

## 2017年度 第3回理事会 議事録

- (7) 【次世代】若手石材人マガジン発行について 山口 資料 P24  
山口：ジャパンストーンショーでのセミナー告知を掲載。マガジンを継続的に発行することにより、若い方にも協会の活動を知っていただく機会になったと思います。
- (8) 【次世代】あじ SF 青年部交流会事業報告 山口 資料 P26  
山口：継続事業としてやってきた。今回は顧客満足推進委員会も参加し、協会の参加協力が例年となり協会への理解も深めやすいと思います。委員会として最後の上程です。なかなか思うようにいかないところもありましたが、この経験を今後に活かします。  
森田：若手石材人マガジンは2年間3号の発行。あじ SF では声かけの場を提供していただきました。
- (9) 【お墓 D】第14回検定試験について (1/24 開催) 湯浅 資料 P28  
湯浅：大雪地方から東京会場への遅刻受検者に対して特例措置をとった。受検者数が大幅に減少しているが、今後も攻めの姿勢で活動していきたい。ご協力よろしくお願いします。
- (10) 【お墓 D】1級取得者研修会(岡山)申込み状況 湯浅 資料 P29  
湯浅：初日研修は27名の申込み。ツアーは定員。天気が心配ですが行程を無事に終えたいと思う。  
森田：昨年より受検者70名の減少。委員会一同努力していますので、みなさまもご協力をお願いします。
- (11) 【お墓 D】第14回お墓ディレクター1級受検者採点会議交通費支給について 射場 資料追加 P13  
射場：試験監督官への交通費は支給している。今回初めて採点作業の大変さを目の当たりにした。すでに承認されている旅費交通費内から支給。
- (12) 【公正競争】委員会の進捗状況について 白木 資料 P30  
白木：設立準備会に向けて発起人のお声がけをしているところです。昨日の委員会にてスケジュールの変更を検討。準備会が設立されたらご意見をいただきたい、業界を挙げて納得いただける規約をつくりたい。
- (13) 【広報】2018年度『お墓参りの日』ポスター展開について 上野 資料 P41  
上野：「母の日参り」各企業がパートナーシップとしてバックアップしている。みなさまには手紙コンクールへの協力をお願いします。4月に表彰式。ポスターを筒梱包でA2を2枚送ります。  
「秋分の日はお墓参りの日」を広めたい。ポスターA14枚、A2を6枚送ります。掲示場所の参考例を同封します。
- (14) 【広報】東京2020参画プログラムについて 上野 資料 P42  
上野：東京2020参画プログラムに登録しました。マーク等の使用が可能となります。
- (15) シナリオ・アクションプランニングについて 射場 資料 P44  
射場：シナリオは作ることがゴールではありません。今後5年後、10年後を見据え何をすべきか検討していきます。
- (16) 2018年度お墓100年プロジェクトへのフォトコン協賛 大代 資料 P46  
大代：継続事業。石産協賞として賞金¥30,000。
- (17) 墓石調査報告(和歌山県高野山) 水野 資料 P49  
水野：井口副会長と調査に向かいました。協会の立場で対応し、報告書を作成しました。



## 2017年度 第3回理事会 議事録

(18) 庵治ストーンフェア 2018 後援依頼及び広告について(6/9～10) 大代 P51・追加 P15

大代：継続事業。石産協賞として賞金¥10,000。

(19) 第9回定時総会について 大代・小松 P54/総会申込書

大代：2017年度報告書は3/15が締切り。総会資料をスムーズに作成するために速やかな提出をお願いします。

小松：6/22高知にて開催します。高知県の味が出る総会にしたいと企画しています。四国4県研修ツアーも思考を凝らしますので、期待して参加のお申し込みをお願いいたします。

寺尾：祝賀会会場の「旭ロイヤル」は食材も絶品ですので楽しみにおいでください。四国地区の特色・魅力を出せるツアーにしたいと思います。ぜひご参加ください。

(20) 全国地区支部長連絡会議の件 射場 資料なし

射場：ここ2年程開催していません。支部地区運営に特化した情報交換の場が必要と思います。

(21) 2018年度新旧理事オリエンテーションについて 大代 追加 P16

大代：5/16の新旧合同理事会の翌日開催します。理事としての基本事項、石産協の経緯説明等オリエンテーションいたします。井口直前・望月監事・伯井監事・射場会長にパネラー、コーディネーターに川本理事。

(22) 支部総会 実施について 大代 追加 P56

大代：4月末までに支部総会を開催。徹底していただきたいお願いです。昨年は9月末までに総会資料等の提出期限を伸ばしたことは、理事会承認を受けた特例です。

(23) 年会費未納者一覧 大代 追加 P57

大代：3月末までに未納は自動退会です、各地区支部長は対応をお願いします。次回より推薦者名を加筆します。

チェックアウト (グループ内にて感想・発表)

### 顧問講評

戸部：みなさまの協議を拝見し、真剣にお話しされている姿をひしひしと感じました。協会から何を得られるか、協会のために何ができるかという姿勢が見られました。

### 監事講評

齋藤：慎重審議お疲れさまでした。高知での総会、カツオと共に期待しています。

2018年2月14日

議事録署名人：白木秀典 ㊞

議事録署名人：望月威男 ㊞

議長：友常千秋

議事録作成人：事務局 星野みゆき